指定管理者選定プレゼンテーション

# 中野市民プール

## 市民に選ばれ続ける施設へ

5年間の運営経験を、次の5年間の価値へ。



株式会社 日本水泳振興会

安全・安心を土台に、地域の健康と豊かな時間を支える

令和8年10月27日

# 方針
# 私たちが次の5年間で実現すること

### 01 安全・安心

予測する・防ぐ・
監視する・即応する・
検証する・改善する

### 02 市民に選ばれる

利用者の声とデータを、
サービス改善と再利用に
つなげる

### 03 地域との連携

市民プールと
B&G海洋センターの強みを
組み合わせる

5年間の経験を「知識」に変え、知識を「改善」に変え、改善を「市民の価値」に変える。

この考え方を、日々の運営・安全管理・サービス・経営管理のすべてに反映します。

# 実績

## 5年間の運営実績｜現場を知っていることが強み

| 指標 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | 5年平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 入場者数 | 8,868 | 12,677 | 11,289 | 12,291 | 9,836 | 10,992 |
| 利用料金 | 999,700 | 1,416,400 | 1,252,800 | 1,396,900 | 1,083,000 | 1,229,760 |
| 営業日数 | 38 | 48 | 45 | 44 | 41 | 43 |
| 1日平均入場者数 | 233 | 264 | 251 | 279 | 240 | 254 |
| 1日平均利用料金 | 26,308 | 29,508 | 27,840 | 31,748 | 26,415 | 28,364 |

実績を把握する → 課題を見つける → 改善する → 効果を検証する

※数値は事業計画書記載の実績。令和8年度は計画書上の数値をそのまま掲載。

# 方針
# 5年前と変わった環境に、運営も進化させる

## 環境の変化

人口減少・少子高齢化
生活様式・利用ニーズの変化

## 運営上の課題

光熱水費・人件費・物価上昇
施設を持続させる経営

## 私たちの対応

現場経験＋データ
効率化＋サービス品質

「維持する」だけではなく、「価値を高めながら持続させる」運営へ。

方針

# 経営方針｜経験を、仕組みに変える

**01｜把握する**
利用実績・声・現場情報

→

**02｜分析する**
課題と原因を見つける

→

**03｜改善する**
運営・サービスに反映

→

**04｜検証する**
効果を確認・共有

「やりっぱなし」にしない。次の改善に必ずつなげる。

利用者数だけでなく、利用頻度・満足度・時間帯別の利用状況も把握します。

安全

# 安全・安心｜すべての経営判断の土台

予測する　防ぐ　監視する　即応する　検証する　改善

## 開場前

排水口・吸水口、手すり、床面、遊具、避難経路等を点検し、施設長承認後に開場

## 営業中

監視・巡回・声掛けを実施。混雑や年齢構成に応じて配置を調整

## 閉場後

設備異常・ヒヤリハット・利用者の申し出を記録し、翌日の運営に反映

事故が起きてから対応するのではなく、事故の芽を早く見つけて取り除く。





# 安全
# 安全管理｜人・設備・情報の三位一体

## 人｜監視・声掛け

危険行動や体調変化を早期発見
救助・応急対応の訓練
利用者特性に応じた配慮

## 設備｜点検・予防保全

排水口・吸水口・遊具等の点検
水質・衛生の測定と記録
不具合を早期に修繕へつなぐ

## 情報｜記録・共有・改善

ヒヤリ・ハットの記録
スタッフ間で情報共有
マニュアル・研修へ反映

小さな気づきを、組織全体の事故防止力に変える。



# 安全

## 緊急時対応｜迷わず動ける組織をつくる

発見
異常を把握
→
安全確保
利用者・周囲
→
救護
応急対応・AED
→
通報
119番等
→
報告・共有
中野市・施設内

定期訓練 ＋ 動画・QRコードによる反復学習 ＋ 記録・検証

経験を個人に留めず、誰もが対応できる組織の力へ。








# 運営体制
# 職員配置｜必要なところに、必要な人を

### 施設長 1名

施設運営の統括
市との連携・職員管理
安全管理・改善判断

### 受付 2ポスト

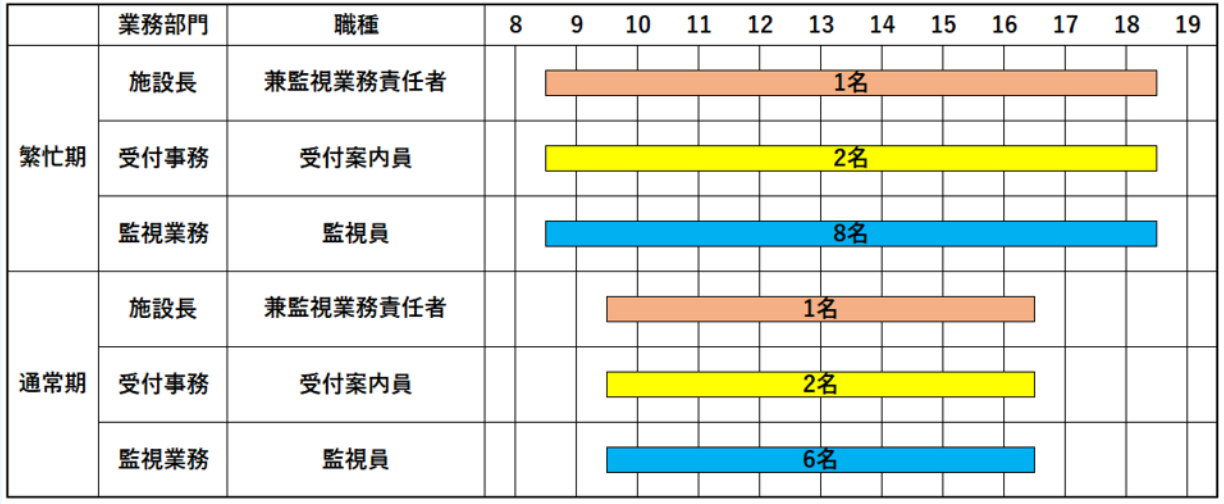
受付・案内・利用者対応
混雑時の受付強化
情報の共有

### 監視 6〜8ポスト

利用状況に応じた配置
死角をつくらない監視
必要時の柔軟な増員

過去5年間、従業員の80％以上が中野市内在住。地域に根差した雇用を継続。

※人数は事業計画書の勤務体制例（ポスト数）。



# 運営体制
## 職員育成｜研修を、現場で使える力に

### 新任研修
施設・ルール・
安全の基礎

### 全体研修
接遇・個人情報・
法令遵守

### 専門研修
水質・監視・
救急救命

### 実地訓練
救助・避難・
AED・事故対応

### OJT
日々の業務で
実践・振り返り

**研修を実施したか、ではなく「研修によって現場が変わったか」を確認。**

# 経営管理
# 経理・施設管理｜透明性と持続可能性を両立

## 月次で見える化

年間収支計画・実行予算
収入・支出・利用状況の確認
計画との差異を分析

## 適正な会計管理

現金保管の適正化
出納と帳簿の照合
複数人・本社による確認

## 効率化と予防保全

省エネルギー
需要に応じた人員配置
計画的な点検・修繕

コストを単純に削るのではなく、必要なところには投資し、無駄を減らす。

# サービス
# 自主事業｜また来たくなる理由をつくる

## 体験を増やす

学校帰りの子ども向け企画
期間限定の体験教室
プールならではのプログラム

## 地域とつながる

地元農産物・地域商品の販売
地域事業者との連携
地域の人・情報が集まる場へ

## 特別な利用機会

夜間・特別イベントを検討
市と協議し安全性を確保
収益をサービスに還元

「利用者が少ない時間」から「新しい利用を生み出せる時間」へ。







# サービス
# 利用者の声｜聞いて終わりにしない

聞く
アンケート・声・行動

→

整理する
共通課題・優先順位

→

改善する
対応・市との協議

→

伝える
館内掲示・Web等

利用者の声を、改善につなげ、結果を利用者へ返す。

確認する指標：満足度・新規利用者・イベント参加・曜日／時間帯別利用状況

# 地域連携
# 地域連携｜中野市民プールとB＆G海洋センター

## 施設間の連携

人材・情報・安全管理を共有
イベント・教室情報を相互発信
目的に合う施設利用を案内

## 地域との連携

学校・園・スポーツ団体
福祉団体・企業・地域団体
水泳・水辺安全教室等

## 地域への貢献

子どもの健全育成
市民の健康づくり
交流・学び・社会参加

**一つの施設を管理するだけでなく、市内のスポーツ・健康づくりを支える。**







信頼

# 信頼の基盤｜法令遵守と個人情報保護

## 法令遵守

条例・規則・労働関係法令
安全衛生・施設関係法令

## 個人情報保護

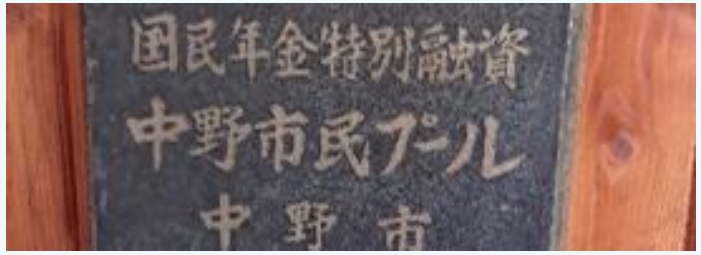
収集・利用・保管・提供・
廃棄・スタッフ教育・管理体制

## 透明性

適切な情報公開
事業報告・運営情報の発信
市民からの信頼

**公正・公平で、説明責任を果たせる施設運営を徹底します。**








# 実行計画
# 次の5年間の進め方｜改善を積み重ねる

**1年目**
現状把握・基盤整備

→

**2年目**
分析・重点改善

→

**3年目**
効果検証・展開

→

**4年目**
連携・サービス深化

→

**5年目**
総括・次期への継承

毎年度：計画 → 実行 → 検証 → 改善

安全・利用状況・満足度・自主事業・収支を継続的に確認。

# 実行計画
## 成果を測る指標｜運営を見える化する

**利用**
入場者数／1日平均

**収入**
利用料金／事業別収支

**満足**
アンケート／要望対応

**安全**
点検／訓練／ヒヤリハット

**地域**
連携事業／参加状況

目標値を掲げるだけでなく、実績との差を分析し、改善行動までつなげる。

| 年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | 令和13年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | 13,000人 | 13,500人 | 14,000人 | 14,000人 | 14,500人 |

# CONCLUSION｜次の5年間へ

「管理する施設」から

「市民に選ばれ続ける施設」へ。

安全・安心を土台に、利用者の声とデータを活かし、
地域とともに施設の価値を高めていきます。

**5年間の経験を、次の5年間の市民の価値へ。**

株式会社 日本水泳振興会